



e-Administration
Advisor Club

会報 わかくさ

第8号

2012年 10 月 発行

自治体や中小企業のさまざまなITの
お悩みをベテラン集団が解決

<http://eaac.sakura.ne.jp/>

わかくさ抄

～専門性を持った中間支援組織について～



e-AAC 理事長
谷川 義明

中間支援組織とは、行政と地域の間で様々な活動を支援する組織のことを言います。

e-AAC は中間支援組織と位置づけられており、その役割について考えてみたいと思います。

中間支援組織について、いろいろな捉え方があり一般的な役割としては主として、

- ▶ 資源(人・モノ・カネ・情報)の仲介
- ▶ NPO間のネットワーク促進
- ▶ 価値創出(政策提言、調査研究)

といった点があげられています。全国に約200の中間支援組織が存在するとみられ、中間支援組織の役割が今後一層大きくなると期待されています。

中間支援組織は、『多元的社会における共生と協働という目標に向かって地域社会とNPOの変化やニーズを把握し、人材・資金・情報などの資源提供者とNPOとの仲立ちをしたり、各種サービスの需要と供給を調整する組織』と定義されています。

中には、NPO支援だけでなく、街づくりの推進をはじめとする様々な分野で自らも具体的な活動を行っているところも多くあります。中間支援組織が、NPO法人の期待も十分認識した上で必要な資源、ノウハウを獲得し、支援していくことが重要でしょう。

中間支援組織に期待されている機能として、

- ▶ 情報提供機能
- ▶ 資源や技術の仲介機能
- ▶ 人材育成機能
- ▶ マネジメント能力の向上支援機能
- ▶ ネットワーク、コーディネート機能
- ▶ 価値創造機能(社会的課題の共有化や解決方法の創出)

上記の諸機能のうち少ないリソースのなかで、どこに重点を置くかによって実態は分化されており、いくつかの特徴あるタイプのものに集約されていくものと考えられます。

e-AAC は、リソースの集中を図れるような専門化した特徴ある形態を志向しています。e-AAC は『ICT/GIS の利活用により地域を元気にする』、というコンセプトの下に地域に根差した形で専門性を高めて行くことが重要であり、専門性をベースに中間支援組織間の連携や協働にも積極的に取り組んでいく必要があると考えています。

今月のトピックス！

(奈良県南部大水害復旧・復興支援事業)

★『奈良県地域貢献活動助成事業』に、 e-AAC 提案事業が採択されました。

- ◎ 提案事業名：ICTの利活用により被災地域を元気にする。
- ◎ 提案事業内容：被災地域の仮設住宅地で研修会を行う。
～具体的にはパソコンの機能、インターネット、フェイスブック などを利用して地域の情報発信力を高める～
- ◎ 実施要領：五條市岡口、坂本、野迫川村北股、3ヶ所にて一泊二日の行程を3サイクル実施する。

★『デジタル教室 夏季研修会』を開催し、大変好評でした。

学校教育の情報化支援事業(奈良県の委託事業)の一貫で、小中学校の先生方を対象にした『デジタル教室 夏季研修会』を開催しました。出席者からは実体験を得て、とても良かった。早くデジタル教室を実現したいとの感想をいただきました。

- ◎ 開催日時(時間 13:30~16:00):
第1回目：7月25日(参加者:教員21名)
第2回目：8月24日(参加者:教員11名)
- ◎ 内容:
電子黒板、タブレット端末、デジタルコンテンツ
を利用した実践的研修会を実施

『デジタル教室』
実体験研修会
於：シャープ(株)
奈良工場
ショールーム



「第1部会」からの報告 自治体情報化支援

第1部会では自治体会員を定期的に訪問して行政の情報化支援を行っています。

定期訪問を通じて、最近の自治体における主なる課題や現状をまとめ、下記のとおり報告します。

■ クラウドコンピューティング取組みへの高まり

クラウドコンピューティングの取組みは高まっている。複数の自治体が連携した取組みと、自治体単独での取組みがあり、10ヶ所に及んでいる。しかしながら、実用段階になると課題が多く、現場の職員の理解が得られていないことが多いように思われる。

■ 情報セキュリティ取組状況

セキュリティ・ポリシーに関する職員の認識は未だにあまり高くない。各自治体のセキュリティ・ポリシーを職員の理解・認識については不十分な面があるように思われる。また所管部門においても、セキュリティ・ポリシーを作成した後、定期的に見直しを行っているところは少ない。時の経過とともにセキュリティ・ポリシーの見直しは必要であり、今後これ等を自治体に提案していきたい。

■ GIS(地理情報システム)の取組み

東北大震災や台風被害等により、自治体や、企業において、防災・減災をはじめとする取組みが増大している。葛城市の取組みは奈良県でも最も進んでいると思われる。広域連携の必要な分野であり、奈良県の県域にまたがる取組みが求められている。事業継続計画の作成が加速しそうである。

■ ホームページ見直しの必要性

各自治体とも、ホームページを作成してから数年が経過しており、新しい技術の出現、市民サービスの多様化、市民の行政への参加意識の高揚、など見直しが必要な時期にきている。いくつかの自治体ではホームページの次期バージョンに向けた検討会が始まっている。



定期訪問 上田市長との面談
於：大和郡山市 市長室

「第2部会」からの報告 NPO 基盤強化支援

第2部会では4年前より奈良県からの受託業務として時代の趨勢にそって『NPO 団体の広報活動をこれまでの紙ベースから電子ベース化へ』というテーマに取り組んできましたが、昨年度末にて受託業務としては一旦終了しました。当該テーマは、例えば県内に450のNPO団体が有りますが、その約半数はIT環境が整っていないといった基本的な課題がベースにある等、たくさんの課題をかかえている事が明確になりました。我々メンバー、すなわち「福井・渡辺・松島・杉島」はこれ等の業務を通して課題を明確化し、これ等を解決していくためのノウハウを身につけることができたと考えています。

これまでたくさんの方々が当該テーマにご協力いただきましたこと、この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。我々4名のメンバーは、これまでの培ったノウハウの活用を含め新規活動テーマに向けて模索しているところです。会員の皆様からのご提案をいただけましたら大変うれしく思います。

～e-AACワークショップのセミナー オンデマンド配信中～

これは特定非営利活動法人サイバー・キャンパス・コンソーシアム TIES 様の協賛によるもので、『みんなの TIES』のホームページから視聴できます。

現在視聴可能なセミナー

| | 研修・講座 | 開催時期 | 合言葉 |
|---|---|----------|------------|
| 1 | クラウドコンピューティング | H22/6～7 | DC6CF2024F |
| 2 | 無料のGISソフト、電子国土 Web や Google Earth を使いこなそう | H23/2～3 | 0368B588E6 |
| 3 | 事業継続とクラウド時代の情報セキュリティ | H23/9～10 | 77344EF064 |
| 4 | スモールワールドと新携帯機器の利活用 | H24/1～2 | 504C5BA364 |

視聴・受講方法として、いくつかの手続きが必要ですので、ここではその概要を説明します。

(1) ユーザー登録

初めての方はまずユーザー登録を行ないます。

- ① 「みんなの TIES」のホームページ(<http://minna.tiesnet.jp/>)の上部、「新規登録」をクリックする。
- ② ID とパスワード、メールアドレスを入力する。
- ③ プライバシーポリシーのページを確認し、「同意して登録する」をクリックする。
- ④ 登録したメールアドレスに、「【みんなの TIES】仮登録完了のお知らせ」のメールが届く。
- ⑤ メールに記載の「認証 URL」をクリックする。
- ⑥ 「本登録」のページで、「ID・メールアドレス」・「TIES からのお知らせ」・「メール転送の要否」・「ハンドルネーム」・「性別」を入力し本登録をする。

新規登録

(2) 受講登録

「みんなの TIES」ホームページの「社会人、卒業生の皆さんはこちら」から登録した ID とパスワードでログインし、受講したい講座の合言葉(上表参照)を入力し、受講登録をすればセミナーを視聴・受講できます。

詳しくは、e-AAC のホームページを参照してください。



「第3部会」からの報告 パソコン研修

■ 委託事業『パソコン教室』

1. 奈良市教育委員会研修センター委託

- <教職員中級スキルアップ教室> 各講座定員 30 人
 ・ 24 年度[エクセルとグラフ] 7/31
 ・ 24 年度[[エクセルとマクロ] 8/10

2. 奈良県市町村研修センター委託

- <市町村職員研修> 各講座定員 30 人
 ・ 24 年度[アクセス 2010]基礎講座 9/11,12
 ・ 24 年度[エクセル 2010]応用講座 9/13,14
 ・ 24 年度[アクセス 2010]応用講座 9/18,19
 ・ 24 年度[パワーポイント 2010]基礎講座 9/20,21

3. 天理市委託 パソコン講座

- <初心者からのパソコン6日間講座> 定員:20 名
 ・ 式上公民館 6/29,7/6,13,20,27,8/3
 ・ 前栽公民館 10/12,19,26,11/2,9,16

4. 都祁公民館委託

- <初心者からのパソコン6日間講座> 定員:20 名
 ・ パソコン講座: 9/19,10/17,31,11/14,12/12

5. 宇陀中央公民館委託 定員 20 名

- ・ 大字陀分室[デジカメ編集とフォトギャラリー] 7/21
 ・ 室生分室[デジカメ編集とフォトギャラリー] 8/4

6. 三笠公民館委託 定員 20 人

- ・ 高齢者学級[デジカメ編集とチラシづくり] 7/7,8
 ・ 夏休み子ども教室[プロフィールづくり] 8/2,3

7. 耳成公民館委託 (第 2.4 土曜日) 定員 20 人/回

- ・ 24 年度上期パソコン教室 20 回×2 4/28 ~ 9/8
 ・ 24 年度下期パソコン教室 20 回×1 9/22 ~ 3/9
 ・ e-AAC フォロー教室(教室開催日の午後実施):87 人

8. NTT 電友会 パソコン教室 定員 20 人×2=40 人

- ・ 24 年度上期 12 回 4/10 ~ 8/28 ・相談コース 9/11
 ・ 24 年度下期 12 回 10/23 ~ 3/28 ・相談コース 9/12

9. 奈良 NPO センター 奈良サマーセミナーに参加

- ・ 「フェイスブック」の楽しさを知ろう 8/5 参加者 8 名
 ・ 「ものづくり教室」パソコンの分解 8/5 参加者 21 名

■ e-AAC 「パソコン教室」事業

1. 大宮教室 :e-AAC 大宮事務所

- ・ ワークショップ(隔週 1,3 土曜日) 定員:10 人
 ・ パソコン講座 24 年度上期 10 回、下期 10 回
 ・ ヘルプデスク:(土日祝を除く) 24/4~9:43 人

2. 高田教室 :中和労働会館&奈良県産業会館

- ・ ワークショップ (毎週水曜日) 定員:20 人
 ・ パソコン講座:24 年度上期 10 回、下期 10 回
 ・ ヘルプデスク:(午後開催) 24/4~24/9:57 人

3. 郡山教室 :奈良県郡山庁舎(旧片桐高校跡)

- ・ ワークショップ :(隔週 1,3 月曜日) 定員:20 人
 ・ パソコン教室:24 年度上期 10 回、下期 10 回

4. 学園前「初心者歓迎パソコン教室」 定員 20 人

- ・ 24 年度 4 月開講 (毎木曜日) 12 回 24/4~ 24/7
 ・ 24 年度 7 月開講 (〃) 12 回 24/7~ 9/27

5. ナビの会 :e-AAC 大宮事務所

- ・ 第2月曜日 定員 20 人 *依頼により講師派遣あり

「第4部会」からの報告

e-AAC
ワークショップ

セミナー

平成 24 年 8 月 21、22 日 の 2 日間

於: 奈良大学

『GIS 教育認定講座』

『基盤地図情報とクラウド GIS 最前線』

第 4 回目となる GIS 講座は、2 日間からなり、第 1 日目は、「クラウド GIS 最前線」ワークショップを実施、基調講演に続き、企業が展開するクラウド GIS の実態を、第 2 日目は「基盤地図情報の整備・更新・利活用」セミナーで最初に国土地理院の基盤地図情報の整備と現状を、次に更新と利活用事例を 4 人の講師から学んだ。基調講演は碓井照子教授が、2 日目冒頭講演は国土地理院の星野秀和氏、また 1 日目は酒井高正教授が、2 日目は碓井照子教授に総括していただきました。



セミナー会場

今回の講座は地理情報システム学会の GIS 教育認定を申請し許可されましたので、希望者には「参加証明書」を、講師には「講師証明書」を発行しました。また、参加者は資料とは別に第 1 部、2 部とも講演資料を USB メモリーにダウンロードして持ち帰ってもらいました。終了後、講師と有志で懇親会を行い、会場で議論できなかったことの発言や、ウラ話の紹介もあり、活発な意見交換を行ないました。また基調講演では奈良新聞等の取材を受け翌日その内容が報道されました。

平成 24 年度下期 New セミナーのご案内

『スマートヘルスケアで地域を元気に』
3 回シリーズ

開催期間: 平成 24 年 11 月 8 日、22 日、12 月 6 日

会場: 奈良女子大学

少子・高齢化の時代を迎え、あらゆる年代で健康への関心が高まっている中、健康をテーマに、新しいサービスの提供が様々生れようとしています。本セミナーではビジネスとしても今後、高い成長率が見込める健康分野において、市場の動向、最新トピックス、最新技術の紹介など、現在これからの ICT、工学、医学が作り出す新たな研究や開発領域についても概説していただきます。また、一例としてウェアラブル生体センサーを用いた従来にないスマートなヘルスケアナビゲーションシステムの実演に参加頂き体験していただく予定です。

募集開始(10 月予定)いたしましたら多くの皆様にご参加いただけるようご協力をおねがいたします。開催テーマなど皆様のご要望、ご意見がありましたら、事務局までご連絡下さい。

「特別プロジェクト」からの報告

■ 平成 24 年度上期 『学校 ICT 支援』実績

- 1. 奈良市小中学校訪問実績 24/4~24/9**
 - ・ G1:北部地区 (登美ヶ丘、鶴舞、平城等・・・41 校)
 - ・ G2:北西部地区 (富雄中、富雄北小等・・・36 校)
 - ・ G3:東南部地区 (三笠中、椿井小等・・・43 校)
 - ・ G4:南西部地区 (興東小中、柳生小等・・・27 校)
- 2. 学校 ICT 支援実績について 24/4~24/9**
 - ① ヘルプデスク・・・103 校
 - ・ ICT 支援の提案とカリキュラムの相談
 - ・ パソコン使い方でも相談とスキルアップのヘルプ
 - ② ワークショップ・・・12 校
 - ・ オフィス講座:ワード、エクセル、パワーポイント等
 - ・ CMS スキルアップ研修と HP ビルダーによる HP 制作講座
 - ③ 情報セキュリティ研修・・・2 校
 - <携帯電話、インターネット利用、セキュリティ研修>
 - ・ 児童向け情報セキュリティ研修・・・1 校
 - ・ 先生向け情報セキュリティ研修・・・1 校
 - ④ ものづくり教室・・・7 校
 - ・ 小学校:科学、パソコンクラブ活動と授業・・・5 校
 - 1 限目:主要6パーツ分解(クロック、CPU、HDD、メモリー等)と働き
 - 2 限目:パソコン動作の仕組みと組立
 - ・ 中学校:「ものづくり」の原点を考える・・・2 校
 - 1 限目:電卓から液晶 TV、80 型電子黒板までを振り返る
 - 2 限目:パソコン分解 クロック、CPU、HDD、メモリー等とその働き
 - ⑤ パソコン授業支援・・・19 校
 - ・ 小学校低学年:JS スマイルで名刺、ありがとうカードづくり
 - ・ 5年生、6年生:ワード、パワーポイント活用授業支援
世界遺産リーフレットづくり
インターネットで調べ、パワーポイントで資料作りとプレゼン
ワードで HP (ホームページ) づくり
 - ⑥ デジタル教室と副コンテンツづくり
 - ・ シャープデジタル教室
夏季研修会を開催
7/25:奈良市の先生 17 名
天理市教 4 名
8/24:奈良市の先生 7 名
平群/浮孔 3 名
 - ★評価結果★
とても良い 16/32 名
良かった 8/32 名
 - ・ 紙ベースの資料を
補佐する「副コンテンツ」の作成
 - 国語副コンテンツ・・・6 件
 - 算数副コンテンツ・・・18 件
 - 社会副コンテンツ・・・9 件
 - 理科副コンテンツ・・・7 件
 - 英語副コンテンツ・・・2 件



『デジタル教室』
先生方に熱心に受講
いただきました。

■ 『学校 ICT 支援』平成 24 年下期の予定

- 1. クラブ活動支援**
 - <パソコンクラブ 科学クラブ 他>
 - ・ 小学生:1 限又は 2 限カリキュラム提案と授業
- 2. ものづくり教室**
 - <パソコンを分解してパソコンの原点を考える>
 - ・ パソコンを分解、パーツ、ユニットの構造と機能を知る
- 3. 情報セキュリティ研修**
 - ・ 児童向けセキュリティ研修:小学生対象 1 限
 - ・ 先生向けセキュリティ研修:先生対象 2 限
- 4. ホームページ作成と支援**
 - ・ HP ビルダーでホームページの作成とアップ
 - ・ CMS のスキルアップ研修

事務局からのご連絡

e-AAC パソコン教室のご紹介

e-AAC ではパソコン教室下記の 8ヶ所で開催しています。最寄りの教室で参加を希望される方は事務局までご連絡ください。また、お知り合いの方にも是非ご紹介ください。

連絡先 tel : 0742-36-8520 mail : e-aac@kcn.jp

| | |
|------|-------|
| 大宮教室 | 学園前教室 |
| 耳成教室 | 高田教室 |
| 郡山教室 | 天理教室 |
| 都祁教室 | 宇陀教室 |

『学校教育の情報化支援(奈良県委託事業)』終了

昨年 10 月から今年の 9 月まで、1 年間、「学校教育の情報化支援」事業を行ってきました。教育分野における課題を実感し、今後とも何らかの支援をしていこうと考えています。特に、ものづくり教室、情報モラル、デジタル副教材の作成については、望まれているところです。関心のある方は、事務局までご連絡下さい。

e-AAC 連絡会議について

毎月、第 1 土曜日 13:15 より連絡会議を開催しています。会員どなたも参加すること大歓迎です。議論に参加して、e-AAC の活動をますます元気にしましょう。

☆編集後記☆

e-AAC 第 8 号を発刊します。ところで、最近のスマートフォンではハード・ソフト両面の驚異的な進歩に伴い、本当に役に立つアプリケーションが次々と使えるようになってきました。ICT の普及に日々がんばっている会員皆様の活躍がますます重要になってくると思われます。(M.S.)

発行

特定非営利活動法人
電子自治体アドバイザークラブ(e-AAC)

編集

e-AAC 編集部
(ご連絡先) e-mail: e-aac@nifty.com
ホームページ: http://eaac.sakura.ne.jp/

協賛団体

